

農業用水路活用小水力発電など選定

10月3日に2部門4件表彰

NPO法人シビルNPO連携プラットフォーム(CNCP、山本卓朗代表理事)は30日、建設分野でのソーシャルビジネスの普及を目的に優れた事業者を表彰する「CNCPアワード」の第2回となる2017受賞者



再生した農業用水路

ベスト・プラクティス部門優秀賞の「農業用水路を活用した小水力発電事業の建設・運営」

シビルNPO連携プラットフォーム「CNCPアワード2017」

を発表した。

優れたソーシャルビジネスを展開している事業者が対象の「ベスト・プラクティス部門」は、優秀賞に「農業用水路を活用した小水力発電事業の建設・運営」(飛鳥建設・オリエンタルコン

サルタンツ特定事業共同企業体)と「既存貯水槽の耐震性向上のための制震装置の開発」(中央大学理工研究所平野廣和研究室)が選ばれた。最優秀賞は該当がなかった。また、優れた事業企画が対象の「ベスト・アイデア部門」は、最優秀賞に「リノベーションによる『子育てママのコミュニティ』づくり」(ミカミ)、奨励賞に「新市民会館周辺公園化構想」(まちみとラボ)を選定。優秀賞は該当がなかった。

また、ベスト・アイデア部門で最優秀賞の「リノベーションによる『子育てママのコミュニティ』づくり」は、子育て中の女性の社会参加という課題解決を視点に、遊休している築年数の古い社屋をリノベーションし、手づくり雑貨などの店舗経営、モノづくりの親子で体験できる場の提供、フリーマーケットやクラフト市といったイベント開催などを提案。奨励賞の「新市民会館周辺公園化構想」は、水戸市の新市民会館周辺の空き地や駐車場を順次借り上げ、住民参加により芝生化してコミュニティスペースとして一般開放したり、イベントなどで活用することを提案している。講評は「子育て世代の女性によるビジネスは新たな関心が持たれている分野であり、工夫次第では広がりが見込める」「空洞化した中心市街地を活性化させる新たな方策を示すものであり、注目に値する」などと評している。

CNCPは、土木学会の創立100周年記念事業として設立された、全国の建設系NPO法人の幅広い連携を目指す中間支援組織で、アワードは建設分野でのソーシャルビジネスの普及を目的に創設。第1回目の昨年

は2部門3件を選定、表彰している。今回は7月5日に開いた選定委員会(委員長・粉川一郎、武威大学教授、委員4人)の結果を8月29日の理事会で了承、最終決定した。

ベスト・プラクティス部門で優秀賞の「農業用水路を活用した小水力発電事業の建設・運営」は、岐阜県中津川市内で大正時代に造られた農業用水路の歴史的美観を一部残しつつ全面的に補修、入れ替えにより再生するとともに、一部を発電用の導水路として活用している。「既存貯水槽の耐震性向上のための制震装置の開発」は、助成金などを基に地震による貯水タンクへの負荷半減を可能にした貯水槽制震装置を実用化し、2016年度末現在で病院や老人ホーム、大型マンションなど全国で70基以上の施工実績を持つ。講評は順に、「官民連携の視点が多あり、地域住民の参画機会が多い」「社会的な意義や効果は大きく、コスト面でも非常に優れている」など評価している。

表彰式と受賞者のプレゼンテーションは10月3日午後2時30分から、東京都新宿区の土木学会講堂で行われる。

優秀賞に飛鳥建設JVら

トス
スティ
ベブラク
シビルNPO
プラットフォーム
アワード受賞者決定

シビルNPO連携プラットフォーム
トフォーム(CNCP、山
本卓朗代表理事)は30日、
シビル分野でのソーシャル
ビジネスの普及を目的とし

て新たに創設した「CNCP
Pアワード2017」の受
賞者を発表した。

優れたソーシャルビジネス
が対象の「ベスト・プラ
クティクス部門」は、最優秀
賞の該当がなく、優秀賞に

「農業用水路を活用した小
水力発電事業の建設・運営」
(飛鳥建設・オリエンタル
コンサルタンツ特定事業
JV)と「既存貯水槽の耐震
性向上のための制振装置の
開発」(中央大学理工学研
究所平野廣和研究室)を選
んだ。優れた事業企画が対
象の「ベスト・アイデア部
門」は最優秀賞に「リノベ
ーションによる『子育てマ
マのコミュニティ』づくり

(ミカミ)、奨励賞に「新
市民会館周辺公園化構想」
(まちみとラボ)を選定。
優秀賞は該当がなかった。

CNCPアワードは安全
・安心、河川・水辺、道路
・交通、地域活性化、自然
・環境などの事業を通じて
社会的課題の解決を図る優
れた事業や企画を表彰す
る。昨年度に創設され、本
年度が2回目となる。

ベスト・プラクティクス部
門で優秀賞の「農業用水路
を活用した小水力発電事業
の建設・運営」は、岐阜県
中津川市落合平石地区に大
正時代造られた農業用水路
に発電所を建設し、住民と
企業が共同運用する地域活
性化事業を実現した。「既
存貯水槽の耐震性向上のた
めの制振装置の開発」は、
最大波高を3分の1程度ま

で抑え、地震によるタンク
への負荷を半減する貯水槽
制振装置を実用化した。

ベスト・アイデア部門の
最優秀賞となった「リノベ
ーションによる『子育てマ
マのコミュニティ』づくり」
は、遊休している古い社屋
のリノベーションを行い、
子育て中の女性の手作り雑
貨の販売などを通じて収益
を確保する仕組みを提案し
た。奨励賞の「新市民会館
周辺公園化構想」は、水戸
市の新市民会館周辺の空き
地や駐車場を借り上げ、芝
生の公園に変え、イベント
などに活用することで中心
市街地の活性化に寄与する
提案を行った。

表彰式と受賞者のプレゼ
ンテーションは10月3日、
東京・四谷の土木学会講堂
で行う。

2部門4件の受賞決定

第2回CNCPアワード

シビルNPO連携プラ
ットフォーム(CNCP、
山本卓朗代表理事)は、
第2回目となる「CNCP
アワード2017」の
受賞者を決定した。

同アワードでは、「安
全・安心」「河川・水辺」
といったシビル分野を対
象に、優れたソーシャル
ビジネスを展開している
事業を「ベスト・プラク
ティス部門」、事業企画
(アイデア)を対象とす
る「ベスト・アイデア部
門」の2部門に分けて選
定する。

ベスト・プラクティス
部門は、応募4件の中
から優秀賞に飛鳥建設(事
業主体)・飛鳥建設・オリ
エンタルコンサルタンツ
特定JV)の「農業用水
路を活用した小水力発電
事業の建設・運営」、同
じく優秀賞に中央大学理
工学研究所平野廣和研究
室の「既存貯水槽の耐震
性向上のための制振装置
の開発」が選ばれた。

飛鳥建設・オリエンタ
ルコンサルタンツ特定J
Vの事業は、老朽化して
いた農業用水路を歴史的

な特徴を残しながら小水
力の導水路の兼用設備と
して再生するなどの効果
を得ているほか、地域と
企業が連携して取り組み
を行うことで、地域活性
化にも期待できる。

一方、ベスト・アイデ
ア部門では、応募4件の
中から、最優秀賞にミカ
ミの「リノベーションに
よる『子育てママのコミ
ュニティ』づくり」、奨
励賞にまちみとラボの
「新市民会館周辺公園化
構想」が選定された。
表彰式と受賞者による
プレゼンテーションは10
月3日、東京・新宿区の
土木学会講堂で行われる
予定。